



みさわ



特集 176人の匠

.....2 ~ 13 P

三沢まつり

8月18日~21日 ミスビードルドーム、市内幹線道路
美しくも力強い祭ばやしの音色と勇壮な山車の姿は誰をも虜にする。老若男女が入り乱れ、日常を忘れて楽しむ最大の夏祭り。

- 市政の動き.....14 ~ 17 P
- TERAYAMA MUSIC MUSEUM vol.218 ~ 19 P
- マックチャンネルガイド.....20 ~ 21 P
- 出来事通信.....22 ~ 23 P
- みさわ情報ネット.....24 ~ 31 P
- 母と子のよい歯のコンクール.....32 P



山車審査	最優秀賞	中央町二丁目祭礼委員会	1	小川原湖伝説 (道忠幻生)
	優秀賞	中央町一丁目祭礼	2	源頼光 土蜘蛛退治
	優秀賞	薬師神社祭礼委員会	3	浦島太郎~竜宮城から故郷へ~
	優秀賞	平畑祭礼委員会	4	八大龍王
	特別賞	大通り祭礼委員会	5	神話誕生
	特別賞	本町四丁目祭礼	6	日本昔ばなし
	特別賞	大町連合町内会祭礼	7	児雷也

三沢の夏を彩る最大の祭り

初日のお通りは、夜間になつてから3年目となる合同運行。日本史や中国史、童話などを題材に作り上げられた豪華絢爛(けんらん)な山車が鮮やかな光を放ち、浴道を埋める観客を虜にした。

中日は大仮装行列、流し踊り、国際サマーフェスティバルと「三沢らしい」催しが続いた。観客の笑顔のために、練りに練られたパフォーマンスを毎年期待する人も多い。

祭り最終日、合同運行の最後を飾る30ロードでの十五山車別れ。全ての山車が、すれ違ひざまに喧嘩太鼓を打ち鳴らす。それに合わせて各祭礼の若者たちは声を張り上げ、踊り、祭りの醍醐味に酔いしれる。その姿は見るものに活力を与え、短くも暑い夏を締めくくるのにふさわしい迫力と盛り上がりを見せた。

三沢の祭りが始まってから87年。地域最大の夏祭りは多くの人を楽しませ、力を与えてきた。だが、あなたは知っているだろうか。今の祭りを陰から支える人々の存在を。

白熱する前夜祭

闇を照らす千紫万紅の光。8月18日、三沢の夏最大の祭りが幕を開けた。ミスビードルドーム特設ステージを15台の山車が華麗な姿で取り囲む前夜祭。この日の為に夏休み中ずっと厳しい練習を積んできたはやし方たちは、仲間の想いを胸に祭礼の誇りをかけて祭りばやし競演会に挑んだ。

力を出し切り爽やかな笑顔をみせる者、無念の涙を流す者、勝利の喜びに浸る者。それぞれの結果を受け止め、次の日から共に祭りを盛り上げるために好敵手から戦友となつて互いを讃えるはやし方全員に、万雷の拍手が送られた。



1位	幸町一丁目祭礼委員会	1
2位	岡三沢祭礼委員会	2
3位	桜町二丁目町内会祭礼	3
4位	三沢市職員互助会	4
5位	平畑祭礼委員会	5
特別賞	本町四丁目祭礼	6

三沢まつり



三沢まつりの由来と歴史

三沢まつりの起源は1922（大正11）年までさかのぼる。当時開通した私鉄十和田鉄道の軌道工事が困難だったため、資材や米俵の運搬用に荷車が利用されていたことから俵を積んだ荷車が山車の起源。その後、八戸三社大祭を参考に山車の自作または借用して古間木地区の商人と住民たちが祭りを作り上げたとされている。大正時代、古間木地区では火事が多く、同地区にある不動神社、権現神社、薬師神社の神々を楽しく遊ばせることによって火を鎮めようと考えられ、祭りが始まったとのことだ。当時は不動神社が権現神社を誘い、薬師神社に2晩泊まり、そして権現神社、不動神社へそれぞれ帰ったことから現在の祭り期間は3日間となっている。

長らく八戸三社大祭から山車を借用（一部自作）していたが、2003年から15祭礼全ての山車が自作となり、2007年からは初日の御神輿渡御と山車合同運行を夜間に実施。伝統を守りつつも新たな試みに挑戦している。

1968	三社大祭から三沢まつりに名称を変更
1969	前夜祭行事として祭りばやし競演会が始まる
1991	中央公園で山車展示と併せた前夜祭行事を試みる
1997	ミスビールドームで過去最高14台の山車展示
2002	16台の山車が合同運行（うち自作1台）
2003	15台の初の自主製作山車が合同運行
2004	30ロードを周回する初の十五山車別れけんか太鼓
2005	ファイナルイベントとして十五山車別れけんか太鼓と十五山車見送り
2006	一部30ロードにて合流。十五山車見送りは実施せず
2007	三沢市の委託事業から補助事業に。商工会が単独主催者となる。初の御神輿渡御および山車の合同夜間運行を実施
2008	雨天のためビールドームでの山車展示を中止。公会堂では12年振りとなる祭りばやし競演会を実施
2010	連日最高温度が30度を超える暑さの中で無事終了



中央町二丁目

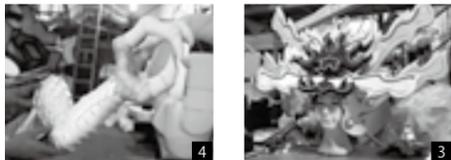
祭礼委員会山車組
野々宮 和博さん

- 1 昨年に続き山車製作の最優秀賞を受賞し喜ぶ山車組と子どもたち
- 2 山車小屋には電気は通っているが水道は無く、汲み置きしながら深夜まで作業する
- 3 人形の衣装も細部まで手の込んだ装飾が施される
- 4 まるで生きているかのような龍の手の造形

自分たちが小さい頃
「早く大人になりたい」
って思えたように。

今年から作風を和物に変え、震災後ということもあり、大波を鎮めた小川原湖伝説をテーマに選んだ。中央町二丁目の山車の特徴は細かい彫刻。手間はかかるがここまで細かい彫刻は多分他にない。山車本体も何年もかけて改造し、仕掛けを増やしてきた。資金や人手、作業環境と山車作りの課題はたくさんあるが、これからも一つ一つ自分たちの手で作っていく。

山車作りの理由はやっぱり子ども。楽しみにしている子どもたちのために、睡眠時間や休み、家庭を犠牲にしても続けている。自作した山車には愛着もあり、祭り当日は騒ぐより壊れないかが心配なほど。最近では山車作りに力を使い切ってしまうと祭り本番と一緒に盛り上がれないが、それじゃだめだ。大人も一緒に盛り上がらないと。自分たちが小さい頃に「早く大人になりたい」って思えたように。



176人の匠

祭りを支える人々

三沢まつりに欠かせない15台の華麗な山車。
自らの手で作り始めてから今年で9年。
困難を乗り越え、それでも作り続ける人たちが胸に秘める想い。

匠たちは、5月あるいはそれ以前から山車の準備に取り掛かる。その年のテーマを話し合い、設計図を描き、材料をそろえ、8月下旬の三沢まつりまでの数カ月間、コツコツと山車を作り上げる。製作人数は平均すれば10人程だが、少ないところでは5、6人。それであの緻密な飾りをまとった巨大な山車を作り上げるのだから、費やす時間や労苦は想像を絶する。

その大部分が日中仕事をしている匠たち。仕事が終わってから毎日のように山車小屋と呼ぶ作業場に集まり、夜中まで手を動かす。真夏の暑さで熱中症になる者もいる。もちろん、給金がもらえる訳ではない。ある者は家族と過ごす時間を犠牲にして、ある者は仕事で疲れた体にむち打って汗を流す。

さらに、山車の自主製作開始から9年を経ても、世代交代している祭礼はあまりない。少ない人数がさらに減り、高齢化が進みながらも、毎年同じ人たちが山車を作り続けてきた。

「ボランティア」。そんな言葉では片付けられない作業。なぜ彼らはそこまでして山車を作り続けているのか。

祭りを陰から支える人々
7月8日、商工会に屈強な男たちが次々と集まった。住む地域も年代も職業もさまざま。だが「やあ今年もよろしく」と互いあいさつを交わす。男たちの目的は三沢まつりの山車運行会議。祭りに参加するそれぞれの祭礼の中で山車を作り運行する「山車組」と呼ばれる人々の代表が、祭りを無事成功させるために、運行経路や手続きなど事務局からの説明を受け、互いに意見を交わし、綿密に打ち合わせた。

三沢まつりの歴史は長い。が、全ての祭礼が山車を自らの手で作り始めてからは今年で9年目になる。最初は見様見真似で作っていた山車も年々技術が上がって、今では見応えある姿がみんなの夏の楽しみになっている。その豪快かつ緻密な山車は、部品一つ一つに至るまで山車組の製作者によって手作りされたもの。人形やその衣装、山車を大きく広げたりガスを噴出させたりする仕掛け、山車を彩

る飾りなど、他の地域の山車から学び、技術を磨き、独自のアイデアを加え工夫して作られた山車は見たものを驚かせ、魅了する。彼らがいなくては、祭りから山車の姿が消える。今年、作業に携わったのは合計176人。祭りを陰から支える176人の匠（たくみ）。

自らの手でつくる山車



薬師神社

祭礼山車組
大久保 光留さん

山車が無くちゃ子どもたちが祭りに出られないじゃない。

うちの山車の見どころは細かい飾り。年々増やしている。色は他みたいにカラフルじゃないけれど、それがきれいだと言ってくれる人もいる。次の年のことを考えるとあまり壊さずにやっていきたいけど、「出来がいいものを作りたい」と思って手を加えている。あとは全部開いた状態で一方通行を通れるように山車を小さくした。一番いい状態の山車をたくさんの人に見てもらいたいからね。

山車の製作はきつけれど、やる以上は最後まで続ける。山車作る人がいないと子どもたちが祭りに出られないじゃない。ましてや神社のお膝元からの山車は無くしちゃいけない。次につなげるためにもやれるだけのことはやってあげないと。やめるのは簡単。

賞は二の次で、見てる人がきれいだなあって喜んでくれるならそれでいい。自己満足の世界だよ。



- 1 一つ一つ丁寧に飾りを作る
- 2 山車に張り巡らされる細かな飾りが見どころ
- 3 開いた状態で一方通行や信号の下を通れるように小型化した山車



大通り

祭礼委員会山車組
宮崎 寿文さん

最初は作るのが楽しかったから。次第に子どもたちが喜ぶように。

今までは武者物が多かったが今年は神話の世界を作った。今年の見どころは大きな人形。今まで奥にあったものを手前に配置したり、せりあがる人形の仕掛けを軽くしたり。龍も5体追加したりと苦労した分、見応えのある山車になったと思う。

大通りは古くから山車を自主製作してきた祭礼。私も作り始めて30年になる。山車を作る最初の理由は自分の好きなように作れるのが楽しかったからだが、次第に子どもたちに喜んでもらえるようにと思うようになった。他に比べて小さいんじゃない子どもたちがかわいそうと山車を大きくし、仕掛けも増やした。

祭りが終わる前からもう次の山車の準備をしている。一年中、製作に携わっていることになる。人手や資金、製作期間を考えると難しい部分もあるけれど、できるだけいいものを作っていきたい。



- 1 人形を手前に配置した迫力の山車
- 2 人形にはねぶたの要素を取り入れたもの
- 3 はやしを練習する子どもたちの保護者が山車作りも手伝う



生まれ育った町内じゃないからこそ、大事にする「つながり」。

うちの山車組の特徴といえば、皆が個々に意見を出し合ってやること。ほとんどが25歳前後で、若者のセンスで作っている。今作っているメンバーは市外からが多い。一丁目は住んでいる人が少ないから。いろんなところから集まってきて、それがまた余計にいいくなって。普段は少ないけど、休みの日には声を掛けなくても皆集まってくれる。生まれ育った町内じゃないからこそ「つながり」を大事にしてるんじゃないかな。

優勝を目指しているというよりは自己満足。狙っていない訳じゃないが、どうせ作るなら納得できるものが作ればそれでいい。毎年「いいのができた」って思ってるけど、前の年と比べると全然違って、毎年レベルが上がってきているのがわかる。

せっかくの祭り。やっぱりもっとたくさんの人に参加して欲しい。



中央町一丁目

祭礼山車組
太田 慎吾さん

- 1 テーマに合わせて作り込まれた飾り
- 2 不安定な高い場所でも集中して作業を進める
- 3 災害を退治される妖怪に見立てた復興祈願の山車



「きれいな山車だ」と言ってくれるのが一番嬉しいです。

「八大龍王」のタイトルの通り8匹の龍を乗せました。この龍の迫力が見どころです。その分こだわりもあって、龍の鱗と人形が一番苦労しています。色も見てほしい部分。毎年褒められていますが、今年は7色に龍を染め上げました。

山車の製作は自己満足じゃないですか？賞とかはもう関係なく。時間があれば細かいところにもこだわっています。出来上がったときに、みんなが「きれいな山車だ」と言ってくれるのが一番嬉しいです。

毎年一杯いっぱいやってますから、山車を作る人が増えればいいですね。三沢まつりがこれからも山車をメインにしていくのなら、山車作りに関わる人たちが、やりたいようにやれるように、すぐ集まれるような環境があれば一番いいですね。



平畑

祭礼委員会山車組
小比類巻 章さん

- 1 龍へのこだわりが装飾一つにもあらわれる
- 2 集中して電熱線で飾りを作る
- 3 色鮮やかな8匹の龍が所狭しと配置された山車



銀座連合町内会

祭礼山車組
佐藤 修さん

次の世代につなげていくためにも 続けているのかな。

今回は震災からの復興を表現する山車にしました。テーマは「天佑神助 日之本復興」です。いつもうちは人形が20体くらい乗るんですが、震災のことを考え人形を少なくし、動物で表現してみました。それが今年の見どころですね。

銀座連合の山車は人形の数が多いですよ。今年は別ですが、最初からずっとこだわって作ってきました。

ここで育った子どもたちが大きくなり、三沢を離れて就職して、また戻ってきたときに「じゃあ俺も作ってみようかな」って興味を持ったらいつでも入ってこれるように、山車作りは残していきたいです。次の世代につなげていくためにも続けているのかな。子どもたちのためにもですね。また、スタッフのみんなも山車作りを楽しんでいるところもありますね。

- 1 2 仕事が終わってから夜遅くまで人形や飾りに精を出す
- 3 震災からの復興に願いを込めた神の助け、天の助けの意味を持つ山車



子どもたちが参加しているうちは お祭りだけは無くしたくないからね。

今年の見どころは大小合わせて8匹のカエルかな。人数が多いのが大町らしさでもある。山車も小太鼓の子どもが10人乗れるように、前の部分は広めに作ってある。今年はいい出来。畳んだ状態はもちろん、広げた時の隙間や収め方、照明にも気を遣う。

やっぱり山車を作るのは苦勞。それでも何のためにと言われれば、子どもたちのためにじゃないかな。子どもたちが参加してくれるうちは、お祭りだけは無くしたくないからね。山車を見た子どもたちからは、いろんなことを言われる。「前よりいい」とか「今年はちょっと」とか。やっぱり「よかった」と言われるのは嬉しいよ。

毎年同じメンバーで作っているけど、みんない歳だから後継者は欲しい。製作だけで本番は見てるだけでもいいくらいだけど、やっぱり祭りは出なくちゃね。



大町連合町内会

祭礼山車組
鳥越 信廣さん

- 1 迫力ある龍の造形
- 2 山車を畳んだ状態と開いた状態のバランスを調整
- 3 小太鼓の子どもたちのためにスペースが広い山車前部



南 町

祭礼山車組
中里 厚憲さん

始まるまでは年寄りの楽しみ。 始まったら子どもの楽しみ。

南町の山車の特徴であり見どころは「からくり」。他とは違う三沢の山車の特徴は何にしたらと考え、そこにこだわって作り続けている。今年の一つの操作で複数の動作が連動する「からくり」に挑戦。部品一つの大きさ、素材についても試行錯誤の連続だ。

山車作りの原点は子どもたちだろうね。子どもたちに夢を持たせるために。大きくなって自分たちの祭りを思い出せるようにしたい。始まるまでは年寄りの楽しみ、始まったら子どもの楽しみというつもりでやっている。だから、楽しまなければ祭りでないよ。

我々は素人。未経験のことに試行錯誤しながら挑戦していく。やりたいことはまだまだあって、難しいけれど技術を上げながら一つ一つこだわって作り壊しを繰り返しながら山車作りをしているよ。

- 1 スライドや回転を組み合わせ動く人形
- 2 運行中に故障することが無いように厳しく動きをチェックする
- 3 からくりの微かな調整に何度もテストを繰り返す



町内の子どもたちに 自分たちが作った山車を引かせたい。

本町四丁目の山車の特徴は、子どもからお年寄りまでに通じる「わかりやすさ」。色もアニメチックで明るい色調にしています。

今年は、今まで作ってきた山車の集大成。複数の昔話から主人公級が集まっています。その分インパクトのある山車にするため配置に苦勞しました。また、山車の横から見ても何の題材かわかるように工夫しました。

山車作りを続けているのは「山車を作っているお父さんが好き」と言ってくれる自分の子どもの期待に応えたいから。そして、町内の子どもたちに自分たちが作った山車を引かせたい。子どもたちの為にそれが一番の想い。「好きだから」だけでできるものじゃない。

世帯数も少ない小さな祭礼だけど、製作者の年齢は幅広く町内に縁のある者ばかり。まとまりはいいと思います。



本町四丁目

祭礼山車組
山本 学さん

- 1 「桃太郎」などみんなにわかりやすいテーマと造作が特徴
- 2 山車側面には大きな文字のメッセージが
- 3 主人公級の人形が並び配置に苦勞した山車



幸町一丁目

祭礼委員会山車組製作部長
大久保 朋斎さん

- 1 人形作りは集会施設の中で
- 2 今にも動き出しそうな大蛇
- 3 仕掛けと炭酸ガスという演出にこだわった山車

続けているのは祭り好きだから。 大事なのは「心」だよ。

自主製作が始まって2年目以降は日本古来の合戦ものをテーマにし続けている。さらに今年は震災の年ということで、みんなで頑張ろうという気持ちを込めたメッセージを入れた。作る上でのこだわりは、仕掛けと炭酸ガス。どちらも去年不具合があったので苦労しながらも改良した。こだわった部分であり同時に見所でもある。せり上がりも去年よりさらに高くなった。

山車作りを続けているのは祭り好きだから。そうでなければ山車は作れない。これはボランティアみたいなものだから強制じゃないし、報酬を払う訳でもない。高齢化が進んで町内から参加する人も少なくなったけど、今でも集まっているのは祭り好きな人ばかり。大事なのは「心」だよ。一人でも多く、そして若い人にも加わってもらって、三沢の祭りを長く続けたい。



想いと時間を共有してまた絆が深まる。 地域に住む者が交流する機会。

新町は例年「三沢らしい」山車をということではいろいろな素材をテーマにしているが、今年は震災からの復興・再興と全世界からの支援とその絆への感謝をこめて七福神に。

製作に関わっているのは60歳代が中心で昔からの幼馴染ばかり。新たに加わりづらいうという声もあるけど、みんな仕事が終わってから手伝ってくれて本当にありがたい。この連中は小さい頃からお祭りが好きな奴ばかりだったから、子どもがいるうちはやめることはできない。大人になっても故郷を思い出せるように。権現神社の氏子として神事を大事にしたいという想いもある。老骨にむち打って、いまや新町「後期高齢者もいる」青年部だよ。長丁場で大変なところもいろいろあるけれど、祭りを通して想いと時間を共有してまた絆が深くなる。祭りは子どもも含めて同じ地域に住む者が交流できる貴重な機会。



新町

祭礼山車組
村井 貞造さん

- 1 周囲が住宅地のため、限られた時間で作業を進める
- 2 石こうで作られた人形の顔は他に比べても独特で愛嬌あるユーモラスな表情



岡三沢

祭礼委員会山車組
袴田 正廣さん

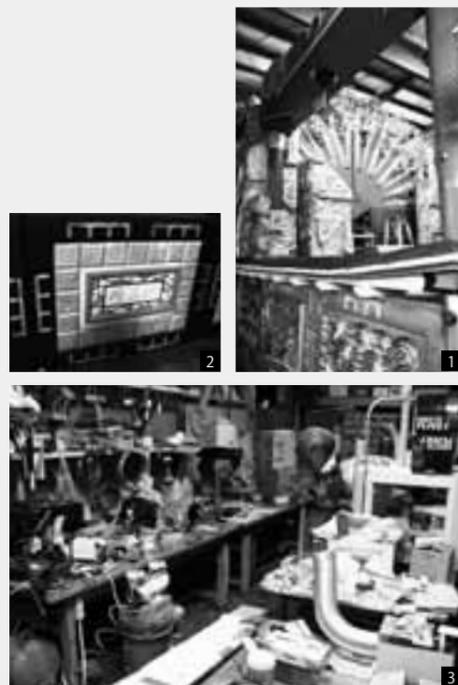
- 1 ミラーボールやLEDライトなど光に動きを取り入れた
- 2 「洋」の要素として取り入れたステンドグラス風の飾り
- 3 毎日のように山車作りに励む作業場は工具と素材でいっぱい

祭りで一番大事なのは 大人が盛り上がることだと思う。

岡三沢では山車に動きを加えることで「三沢らしさ」を表現していきたいと考え、これまで人形や光、水、煙などでその動きを出してきた。できることなら、それが三沢の祭りの特徴になればとも考えている。

山車製作に携わる者や祭りばやし参加者なども減ってきているが、祭りが盛り上がるためには、子どもではなく大人が盛り上がる必要がある。それが結果として子どもに伝わり、若者の参加が増えることにつながっていくと考えている。

山車製作を続けてきたのは、特徴ある三沢まつりにしていきたいとの思いと、岡三沢ではそれを少しずつだが試みているという誇りのようなものと、何より製作に携わる者が減少している中で何とかしなければならないという責任感のようなものがあるからかなと思う。



地域で育つ子どもたちを楽しませたい。 自分たちがそうだったように。

ふるまきは一貫して地元の不動神社を山車のテーマにしている。今年は実物の不動神社に近づけるよう苦労しながらも工夫を施した。不動神社はふるまきの山車作りの根本にある。

15連の小太鼓と2つの大太鼓を乗せた、太鼓やぐらのような山車はふるまきらしさ。華やかに魅せるというより、まずは主役の子どもたちが、そして地域の人たちが楽しめるような山車作りをというコンセプトは最初から今も変わらず、これからも曲がらない。

作業をしているのは、ほとんどがこの地域で生まれ育った人たち。今、同じように育つ子どもたちを自分と重ね合わせてしまう。苦労してでも山車を作るのは、そんな子どもたちを楽しませたいという一心。あとは安全に大人も子どもも「今年はおもしろかった」と思える祭りにできればいいという想いだけ。他には何も無い。



ふるまき

祭礼委員会山車組
黒澤 一誠さん

- 1 不動神社は地域の人々の根本にある支え
- 2 気持ちを伝えられるように大きく描かれた「がんばろう三沢」
- 3 神社に近づけるために細部にわたって工夫が凝らされる

山車に込められた想い
 東日本大震災から初となる今回の祭りには、特別な想いが込められていた。多くの祭りが、復旧・復興の協力への感謝と未来に向かって歩き出すための想いを「がんばろう」などの文字にして山車に入れた。「山車を見た人が少しでも気持ち明るくし、被害を受けた人には力を分けることができるように」と山車のテーマは希望に向かったものが多く、色使いも華やかだった。いにしえの祭りは災害を治めるための祈願でもあったというが、今回の祭りはその起源の姿に似ていた。

前夜祭はあいにくの雨。会場は15台の山車すべてを覆うことはできず、せつかく作った山車が雨にさらされ破損してしまうかもしれない状況だった。主催者である商工会は、山車の展示を断念することも考えた。しかし、各祭礼からの申し出に後押しされて同会場での開催を決定。1台も欠けることなく15台全ての山車が雨の中に集結した。「山車が無くしては祭りにならない」「山車が大事なんじゃない」「楽しんでることが大事なんだ」そんな匠たちの想いが聞こえるようだった。



俺たちは「祭り馬鹿」の集まり。でもそれだけじゃない。

今年は全体的にカラフルな山車にした。震災の後ということもあって、見た人が「華やかな山車だな」って思えるように。そして少しでも気持ちが明るく元気になるように。桜町の山車は小さいから、いかに華やかに大きくみせるか工夫しているところが特徴。テーマも社会情勢に合わせて、見る人が知っている物語でも「こんな場面があるの？」って思える場面を作っている。

俺たちは「祭り馬鹿」の集まり。でもそれだけじゃない。祭りに出る子どもたちがいるからやっているんだよ。いなかったら何のために作っているのかわからない。

資金も人手も、もちろん厳しい。飲み物代すら製作費に回して、自分の小遣いから飲み物を振る舞ったりもする。毎晩遅く帰るから家族には怒られるしね。でも、この季節になると黙ってられない。本当に祭りが好きなら黙っていても何かやりたがる。みんな一緒でしょう？見るだけじゃなく、参加して一緒に祭りを楽しんでほしい。



桜町二丁目町内会

山車組の皆さん



- 1 1枚1枚丁寧に貼られた龍の鱗に苦労とこだわりが
- 2 限られた人数での作業は時に徹夜になることも



まちの活性化のために、少しでも何かしたいと思って集まってくれるのだろう。

今年の山車は、妖怪を鬼太郎とその仲間たちが退治していく様子で震災で苦しみ元気が無くなっているイメージを吹き飛ばそうというもの。また、ミス・ビードル号による太平洋無着陸横断飛行から80周年ということもあって、完成度の高い模型が見どころ。

山車作りは究極のボランティア。口にはしなくても、それぞれがまちの活性化のため、祭りを成り立たせるために少しでも何かしたいという強い想いを集まってくれるのだろう。そして一度始まってしまったら、それを完成させたいという使命感がある。誰かがやらなければという思いから、限られた人数でやってこれたのはみんながそれぞれ責任感を持ってくれているからだと思う。

これから先も、若い世代を中心に「力」を合わせ、三沢のまちを盛り上げていくことが必要と感じている。



三沢市職員互助会

山車組
和田 義幸さん

- 1 仕事の後や休日に集まり手分けして作業する
- 2 発泡スチロールを削り、人形を作る
- 3 世界的偉業を成し遂げたミス・ビードル号の模型

匠たちへの報酬
 匠たちは、山車が完成した後も気を緩めない。山車が出発してから祭り最終日の日程を終えて無事に山車小屋に戻るまで、さまざまな事故も起こさないように。みんなを楽しませながらも匠たちの責務は続く。

給金も無く、栄誉も二の次にする匠たちは、祭りの中で最高の報酬を得た。観客、参加者、何よりも子どもたちが喜ぶ姿。憧れの眼差し、称賛の声、山車の上で嬉しそうに太鼓を叩く姿。それは匠たちが数カ月をわたって最も欲しかったもの。長い苦労が報われた瞬間。それでも匠たちはきつと自慢げすることはないだろう。「祭りを楽しんで、喜んでもらえればそれでいい」。お互いに目を合わせ、満面の笑顔を見せる匠たち。その笑顔にはどれほどの価値があるのだろうか。

三沢まつり最終日の十五山車別れ。15台の山車全てが30ロードをすれ違い、太鼓を鳴らし、裂けんばかりに声を張る。今年の祭りの無事を祝い、お互いをたたえ「じゃあまた来年」と荒々しいエールを交わす。

彼らの長くて短い夏が今年も終わった。

匠の明日、祭りの未来
 気難しそうな匠たち。作業場では声を掛けるのをためらうほど、黙々と一心不乱に作業に没頭する。それでいて山車のこととなると、我が子のことのように少し照れながら目を輝かせて話す。

今、彼らは危機に瀕している。地域からの寄付金や補助金の減少による資金不足。作り手の不足と高齢化。どの祭礼も同様の悩みを抱え、状況は深刻だ。「山車を無くしたくはないが作り続けることはできないかも知れない」。そう話す表情は寂しげだった。

祭りは、古来から地域の人々が楽しむ一大イベントである。見ても楽しいが参加すればもっと楽しい。普段とは違う環境が人間関係を広げ、子どもたちを育てる。

将来を支える子どもたちが三沢で笑って育つていくために、引き継がれてきた伝統と想いを残すために、自分には何ができるだろうか。

その気持ちがあれば、あなたももう匠の一人。

【特集】176人の匠 完

平成24年度 重点事業に関する要望説明会

政策調整課 (内線531)

7月26日、青森県庁において、三沢市が国や県に対して来年度、重点的に実施を要望する事業について説明を行いました。今回は次の5つの事項を含む全18事項を要望しました。(以下、最重要事業要望)

1. 三沢空港発着路線の拡充
- ①三沢・東京線の4便体制復活
- ②三沢・大阪線および三沢・札幌線の復活
- ③新規航空会社による三沢空港就航を誘致



▲三沢市からの要望に回答する三村知事

2. 三沢飛行場第二滑走路の早期着工と航空機産業等の企業集積
- 三沢空港の安定運用を図るため、民間機優先の第二滑走路の早期着工と、飛行場が所在する三沢市の特色を生かした航空機産業の誘致について要望。

3. 企業誘致の推進
- 集団移転跡地等遊休資産を利用した大規模な太陽光発電施設の誘致と太陽光発電関係企業の誘致について要望。

4. 国道338号高瀬川架橋新設道路等の整備
- 高瀬川の架橋新設道路の整備と国道338号の道路拡幅や歩道整備について要望

5. 原子力オフサイトセンター機能を有する総合防災センターの建設

県内の防災対策の充実・強化のため、三沢市の交通体系・機動力を活かし、支援物資の備蓄・配送拠点機能と原子力災害時の現地対策拠点施設を補完する機能を兼ね備えた総合防災センターの設置について要望。

第1回三沢市復興委員会が開催されました

政策調整課 (内線532)

7月22日、公会堂において、第1回三沢市復興委員会が開催されました。

これは、3月11日に起こった東日本大震災からの復興を迅速かつ計画的に推進するために、大塚副市長を委員長として、警察署や農協、漁協、商工会、連合町内会など各分野・関係機関から集まった有識者や学識経験者によって組織されたものです。この委員会には防災対策等検証、漁港等復興支援、生活支援・相談に関する3つの部会が設けられ、具体的な内容が検討され、その結果が委員会に諮られることとなります。



▲部会の内容や市民の意見も含めて復興計画を検討する委員たち

初回となるこの日、種市市長は「震災では市全体で76億円を超える甚大な被害を受けた。市民が安心して暮らせるために、皆さまの立場からご意見をいただきたい」とあいさつし、事務局から委員会の設置要綱や被害および対応状況、三沢市復興計画の策定方針などについて説明があり、質疑が交わされました。



▶「災害に強いまちづくり」のため委員への協力を願う種市市長

今後は、全5回の委員会を開催し、部会の検討内容やパブリックコメントなどを取り入れながら年内に「三沢市復興計画」を作成する予定です。

三沢市戦没者追悼式

8月17日、悪天候のため、三沢小学校講堂において平成23年度三沢市戦没者追悼式が開催されました。

幕末以来、日清戦争から太平洋戦争まで、当時の三沢村からも多くの青年たちが遠い戦地へおもむき、尊い命を失いました。その御霊に対し、種市市長をはじめ関係者やご遺族など約200名が恒久平和を願い、祈りを捧げました。また、式典では種市市長から式辞を、市議会議長と遺族会代表から追悼の言葉が捧げられ、参列者は一人一人想いを込めて献花しました。



▶それぞれの想いを込めて祭壇に献花するご遺族の皆さん

市長室から

いんごちは



時を経た栄光と偉業

先月18日、あの太平洋無着陸横断飛行から80年の時を経て、なかなか叶うことができなかった、ミス・ビードル号の再現飛行実現への挑戦がありました。数日前にはテスト飛行を行っておりまして、市内でご覧になった方もいらっしゃるかと思います。

普段、航空機を見慣れている私たちでも、近年はジェット機ばかりを見ておりますので、往年のプロペラ機の音とゆったりと飛ぶ姿に昔日の面影を感じながらも、よくこのような機体で太平洋を横断飛行できたものだと改めて驚かされるものであります。

式典当日は、あいにくの雨空で、直前までどうなるのかわからない状況の中、ミス・ビードル号は見事に飛び立ちました！重い雲の下を勇壮に飛ぶ赤い機体を眼の前にした時、感謝と感

動と様々な想いがめぐり、目頭に熱くなるものを感じておりました。

市民の皆さんには、雨空の影響もあり、ご自宅などからご覧いただけなかった方も多数いらっしゃったのではなかったかと思えます。今月4日の航空祭では、何とか好天に恵まれ、最後の飛行を多くの皆さんにご覧いただき、当時の偉業に触れ、その勇気と志を感じていただければ幸いです。

そして、当時の三沢村長であった小比類巻要人氏が残した、淋代海岸から太平洋横断を目指した5機のパイロットたちが1枚の紙に記した寄せ書きの実物が先人記念館に現在展示されておりまして、ご覧いただければ皆さんにも当時のドラマを感じていただけたと思います。

三沢市長 種市一正

農業委員会からのお知らせ

農業委員会事務局 (内255)

農地等の転用には許可が必要
農地の売買・賃借・転用等をするには、自分の土地であっても農業委員会または県知事の許可を受けなければなりません。

- ▼3条許可
農地の所有権・賃貸借権等の権利の移転・設定をする場合に必要。
- ▼4条許可
自分の農地を農地以外の地目に転用する場合に必要な。
- ▼5条許可
売買・賃借等により、譲受人が農地以外の地目に転用する場合に必要。

※農地転用等の許可申請受付は毎月10日が締め切りです。
新規に農地を取得した場合は報告が必要
農地法の改正により、相続等において農地を取得した場合には農地法第3条の3の第1項の報告が必要となりました。併せて農地法の罰則等も強化されましたので、適切な報告を心がけましょう。

障害児福祉手当・特別障害手当

家庭福祉課 (内381)

障害児福祉手当
20歳未満で精神または身体に重度の障害があり、日常生活で常時特別な介護を必要とする在宅の障害児に対して支給される手当です。

- 支給額 月額1万4330円
- ※ただし次に該当する方を除きます。
 - ①施設に入所している人
 - ②障害を支給事由とする年金の給付を受けている人
 - ③本人または扶養義務者の所得が一定以上の人

特別障害者手当

20歳以上で精神または身体の障害が重複するなど、日常生活で常時特別な介護を必要とする在宅の重度障害者に対して支給される手当です。

- ※ただし次に該当する方を除きます。
 - ①施設に入所している人
 - ②病院等に3カ月を超えて入院している人
 - ③本人または配偶者もしくは扶養義務者の所得が一定以上の人

後期高齢者医療制度の運営に関する『運営懇談会』委員を公募します

国保年金課（内線240）

- 職務** 後期高齢者医療制度の運営への意見・提案
任期 委嘱の日から2年間
謝礼等 会議1回の出席につき謝礼5,000円と交通費（公共交通機関利用の実費相当額）
応募資格 県内在住の40歳以上で、平日日中青森市で開催する会議に出席できる方
募集人数 3人（応募者の中から選考により決定）
 ①75歳以上の後期高齢者医療被保険者 1人
 ②65歳以上障害認定の被保険者 1人
 ③後期高齢者医療以外の医療保険被保険者 1人
応募方法 応募用紙と「後期高齢者医療制度に関する意見（400字程度）」を提出
応募締切 9月22日（木）
応募用紙等の配布と問い合わせ先
 国保年金課 高齢者医療係（内線240）
 県後期高齢者医療広域連合 総務課（☎017-721-3821）<http://www.aomori-koukirengou.jp/>

MGプラザの新名称を募集します

産業政策課中心市街地活性化推進室推進係（☎51-1712）

MGプラザは中心市街地の活性化を担う拠点施設として平成21年にオープンし、3年目を迎えました。また、本年6月に開催されたMGインターナショナル(株)定時株主総会において、経営の基本方針を「米軍基地、アメリカ、インターナショナル」にこだわり、特徴のある店舗づくりを目指すことに決定したことから、これまで以上に地域の皆さまに親しまれる施設となるよう、この基本方針にふさわしい新店舗名を募集します。

なお、採用された方には街の駅みさわ「厳選の健康食品セット」（1万円相当）をプレゼントしますので、多数のご応募をお待ちしています。



広告

広告

応募方法

①住所②氏名③年齢④電話番号⑤新名称案をはがき、FAXまたはEメールで下記までお送りください。直接持参する場合は、MGプラザ内街の駅みさわとMGプラザオフィスに設置する応募受付箱に投函してください。

▶はがきで郵送する場合
 〒033-0001 三沢市中央町2丁目8番34号
 MGインターナショナル(株)新名称募集係

▶FAXの場合 51-1812

▶Eメールの場合 mg-p@mctvnet.ne.jp

応募締切 9月30日（金）必着

発表 10月16日（日）

原付（50cc以下）オリジナルナンバーの希望番号を募集します

税務課（内線161）

ミス・ビートル号の太平洋無着陸横断飛行80周年を記念した、三沢市独自のナンバープレートの交付を10月4日から開始します。また、これに先立ち、希望ナンバーの交付希望を受け付けます。

<希望ナンバーの交付希望>

対象車種およびプレート番号

原付50cc以下（白色）の「み」1～500番
 ※下1桁「4」「9」および下2桁「42」を除きます。

応募方法

- はがきに次の内容を明記し、郵送してください。
 ▶「新規」または「交換（現在のナンバープレートを交換する場合）」の別
 ▶応募者の住所、氏名、生年月日、電話番号
 ▶希望ナンバーを1つ（複数の記載がある場合は無効）
 ▶車体番号
 ▶「交換」の場合は現在使っているナンバー

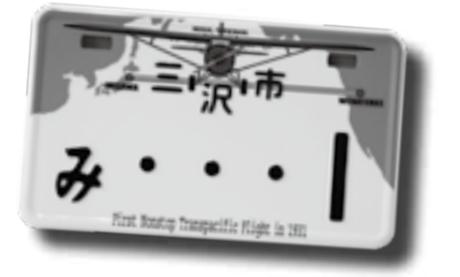
郵送先

〒033-8666 三沢市桜町1丁目1番38号
 税務課住民税係オリジナルナンバープレート担当

応募締切 9月20日（火）必着

結果通知 同一番号に複数の応募があった場合は、税務課内において抽選を行います。なお、抽選に関して来庁していただく必要はありません。その後、応募者全員に結果と交付手続きの案内を郵送します。

※抽選で外れた場合は、応募のあった希望ナンバー以外の番号から順次交付します。第2希望等は受け付けませんので希望番号ではない番号となる場合がありますが、ご了承ください。



交付期間

10月4日（火）～10月31日（月）の間に税務課8番窓口で手続きをしてください。期限までに手続きをしなかったナンバープレートは無効となり、11月1日（火）以降、窓口で登録順に交付します。

注意事項

- ▶電話による応募は受け付けません。
- ▶応募は1人につき1通とします。
- ▶当選した希望番号の権利を他の人に譲ることはできません。
- ▶応募内容に誤りがあった場合は無効になる場合があります。
- ▶オリジナルプレートは原動機付自転車第1種（50cc以下）のみですご注意ください。

<希望ナンバー以外の場合>

交付開始日 10月4日（火）
 ※応募のあった希望ナンバー以外を番号順に交付します。
交付場所 税務課8番窓口

敬老会開催のお知らせ

介護福祉課高齢福祉係（☎51-8773）

日時 9月18日（日）
 受付 9時30分
 開会 10時30分

場所 公会堂

対象者

市に引き続き3カ月以上住所を有している70歳以上（昭和16年9月16日までにお生まれ）の方
 ※はがきと引き換えに記念品（弁当）をお渡しします。（引換時間は当日の14時までです。）はがきを紛失したなどの場合は、当日再発行しますので、係員にお申し出ください。

※介護保険施設に入所されている方につきましては、施設を通して別の記念品をお渡しします。

敬老会でお手伝いして下さるボランティア募集

募集期間 9月7日（水）まで

あなたのまわりで頑張っている人はいませんか？

広報広聴課（内線215）

三沢市地域社会貢献者褒賞【ハートフルみさわ賞】に該当する方を推薦してください。

対象 地域のために自主的にコツコツとボランティア活動やまちづくり活動を行っている個人または団体

資格 市内に在住している方、または市内に事務所のある団体

推薦方法 市ホームページからダウンロードまたは広報広聴課で配布する「三沢市地域社会貢献者褒賞候補者推薦書」に記入のうえ、持参または郵送してください。

推薦締切 9月20日（火）

提出先 広報広聴課市民協働推進係
 〒033-8666 三沢市桜町1丁目1番38号



- 7 入念に打ち合わせする音遊戯会メンバー
- 8 受け付けではPR用CDとステッカーと一緒に笑顔で一人ひとりを迎える
- 9 自らの出演以外の時間は裏方として食べ物や飲み物を来場者の為に準備する。
- 10 若年層を中心に1000人以上が集まった観客席
- 11 三沢高校と三沢商業高校の生徒が参加し、商業生は独自開発したアイスを販売
- 12 フィナーレのステージを務めた音遊戯会メンバー



11時。イベント開始を告げるMCの力強い宣誓の後、次々と登場し観客を虜にするアーティストは、DJ、ヒップホップ、ロック、ラップ、ジャズ、ダンス…と多種多様。「あらゆるジャンルのアーティストを受け入れ、若者が楽しめる場であること。交流の場になること」と三沢音遊戯会の畑中さんは、このイベントの特徴について語る。めまぐるしく変わるジャンルは、一方にしか興味を持っていなかった観客に新たな発見をもたらしたのかもしれない。増え続ける観客は会場を埋め尽くし、観客同士の交流をも生んでいた。

22時。暗闇の中に赤く燃えるステージに上がった三沢音遊戯会のメンバーを囲み、最高潮の盛り上がりを見せる観客や出演者たち。15時間以上もの間、自らのステージ以外は準備から進行、出店など裏方としての仕事をしてこのイベントを成功させた本当の主演に惜しめない賞賛の拍手を送っていた。

若者たちが自らの手で作り上げた芸術の祭典。未来の担い手たる若者の熱い意思と強い行動力を感じた。



三沢音遊戯会
畑中 勇治さん

若者が活動できる場を創る

予想以上の盛況に驚いています。これからは、もっと大きく三沢の祭りの一つとして続けていければと思っています。一つのジャンルだけではなくダンスからヒップホップ、レゲエ、ジャズ、ロック…と様々な出演者とお客様が集まる複合的な祭りに。

音楽やダンス、アートをしている若者たちに「やる場所」を提供していきたいですね。みんなで力を合わせればやれる。そこには交流も生まれる。三沢にしながら音楽に触れ、三沢から出ていなくても芸術活動ができる環境を作りたいです。

ることも狙う。また、市民と行政による協働のまちづくり推進のために、市が必要経費の一部を補助する「協働のまちづくり市民提案事業」に採択された事業でもある。

主催するのは寺山修司記念館と「三沢音遊戯会(みさわおゆうぎかい)」。三沢に住む若者たちの「自分たちもライブで三沢の人たちを元気にしたい」という熱い思いに賛同し、音楽、芸術、文化に深い関心を持つ人たちが集まって立ち上げた会だ。会員それぞれが若者の熱い思いを受け入れる理解と経験を持ち、昨年の活動からさらに会員が増えたという。

早朝、寺山修司記念館に集まった三沢音遊戯会メンバーは、このイベントを成功させるべく手分けして会場設営に取り掛かった。ある者は機材を運び、設営し、入念に音をチェック。ある者は出店を設営し、イベント開始と同時に販売できるよう食材を準備。また、進行を確認する者、注意書きの看板を設置する者と、無駄なく円滑に進んでいく作業は見事という他になかった。



若者よ！ 集え！ TERAYAMA MUSIC MUSEUM vol.2

7月31日、緑の木々に囲まれ、普段は静寂にたたずむ寺山修司記念館が、若者たちのあふれる熱気に包まれた。

真夏の暑さをも忘れさせる熱の発生源は、地元のアーティストによる音楽やダンス、アートなど30ものプログラムが11時間にわたり1000人以上の来場者の心を震わせた「TERAYAMA MUSIC MUSEUM(テラヤマ・ミュージック・ミュージアム) vol.2」。

前日から開催されていた「寺山修司記念館フェスティバル/夏2011」のプログラムの一つであるこのイベントは、昨年初めて開催され、今年で2回目。「三沢のこれから」を担う若者たちに、三沢にいながらでも音楽やダンス・現代アートなどの文化活動を楽しめる環境を提供することを目的とし、さらに、数多くの前衛的な作品を世に残した寺山修司とコラボレーションすることで両方の魅力を三沢らしさとしてアピールす

1~6 熱気あふれるステージで来場者を魅了する出演者たち



2011年9月番組表 (9月8日～10月7日)														
	月						土						日	
	9/12-19-26						9/10-17-24						9/11-18-25	
	10/3						10/1						10/2	
6	モールオブTV					6	モールオブTV							
7	週刊マック	マックワイド [再] 月曜日放送分	マックワイド [再] 火曜日放送分	マックワイド [再] 水曜日放送分	マックワイド [再] 木曜日放送分	7	マックワイド [再] 金曜日放送分	週刊マック						
8	手話ニュース					8		手話ニュース						
9	求人情報					9	求人情報	モールオブTV						
10	モールオブTV					10	モールオブTV							
11	サイエンスチャンネル	20日 大空への夢がつかないだ絆 13日・27日 10月4日 サイエンスチャンネル	14日・21日・28日 サイエンスチャンネル 10月5日 三沢基地航空祭	サイエンス・チャンネル		11	サイエンスチャンネル	18日 大空への夢がつかないだ絆 10月2日 三沢基地航空祭 11日・25日 サイエンスチャンネル						
12	週刊マック	マックワイド [再] 月曜日放送分	マックワイド [再] 火曜日放送分	マックワイド [再] 水曜日放送分	マックワイド [再] 木曜日放送分	12	マックワイド [再] 金曜日放送分	25日 12:00～ 三沢まつり 御通り [再] 13:00～週刊マック 11日・18日、10月2日 週刊マック						
1	手話ニュース	求人情報					1	求人情報	手話ニュース					
2	モールオブTV					2	モールオブTV							
3	モールオブTV					3	モールオブTV							
4	週刊マック	マックワイド [再] 月曜日放送分	マックワイド [再] 火曜日放送分	マックワイド [再] 水曜日放送分	マックワイド [再] 木曜日放送分	4	マックワイド [再] 金曜日放送分	週刊マック						
5	手話ニュース	求人情報					5	求人情報	手話ニュース					
6	サイエンス・チャンネル					6	サイエンス・チャンネル							
7	マックワイド ▼市内の出来事▼インフォみさわ▼情報宅配便(文字放送)▼マックコーナー ▼心の詩▼やさい週間情報▼ごみ収集日程▼市内の天気&空席情報					7	週刊マック 月～金曜日放送分の 市内の出来事を一挙放送		手話ニュース					
8	12日～14日 三沢市議会放送		26日～28日、3日～5日 7:30～マックワイド 8:00～求人情報		15日 7:30～三沢市議会放送 8:30～サイエンスチャンネル	16日 7:30～三沢市議会放送 8:30～サイエンスチャンネル	17日 8:00～ 大空への夢がつかないだ絆 9:00～週刊マック	24日 三沢まつり 前夜祭 [再] 10月1日 8:00～三沢基地航空祭 9:00～週刊マック	25日 三沢まつり 中日 [再] 11日・18日 10月2日 8:00～サイエンスチャンネル 9:00～週刊マック					
9	マックワイド [再] 午後7時放送分					9	サイエンス・チャンネル							
10	12日～16日 三沢市議会放送		8日・9日、19日～23日 26日～30日、10月3日～7日 マックワイド [再] 午後7時放送分			サイエンス・チャンネル		週刊マック		手話ニュース				

※その日放送されるマックワイド市内の出来事の内容は、EPG(電子番組表)で確認できます。※予告なく番組が変更されることがあります。

三沢市ケーブルテレビジョン 自主放送 11ch マックワイドチャンネル 2011.SEP

大空への夢がつかないだ絆

～太平洋無着陸横断飛行80周年記念メモリアルフライト～

放送日程 9月17日(土)午後8時～
再放送 9月18日(日)午前11時～9月20日(火)午前11時～
9月22日(木)午後 8時～

淋代海岸を飛び立ち、世界初太平洋無着陸横断飛行を達成したミスビードル号。偉業達成80周年を記念して行われた、復元機によるメモリアル飛行や、航空祭でのラストフライト。
離陸地の三沢と着陸地の米ウエナッチバレーの有志が挑む記念事業と友情を紹介します。

2011 三沢基地航空祭

放送日程 10月1日(土)午後8時～
再放送 10月2日(日)午前11時～10月4日(火)午前11時～
10月6日(木)午後 8時～

日米の戦闘機が集結しパワフルなエアショーを披露する三沢基地航空祭。全国の航空ファンも注目するイベントの様相を紹介します。

三沢市議会放送

平成23年第3回定例会

放送日程 9月12日(月)～9月16日(金)
午後7時30分～8時30分・午後9時30分～10時30分

※開会・一般質問・閉会の詳細な日程については、マックワイドでお知らせします。



生活情報番組 マックワイド

初回放送 平日夜 19時 再放送 21時・22時・朝7時・8時・9時・昼12時・13時・16時・17時

市内の出来事や市役所からのお知らせ、ピンポイント天気予報やごみ収集日のお知らせなど暮らしに役立つ情報を紹介します。

大切な思い出を記録に

録画し忘れても大丈夫！マックテレビで放送した番組をDVDやVHSにダビングする便利なサービスです。

料金 1番組1時間当たり1,050円

※記憶媒体 (DVD・VHS・ブルーレイディスク等) は、お客様負担となります。
※自主制作番組限定のサービスになります。

音楽をもっと身近に感じて

わかりやすい音楽会

8月7日

「クラシックは堅苦しい」と思われがちだが普段耳にしている曲も多く、子どもにもわかりやすく解説しながら誰もが知っている曲と一緒に楽しむことで身近に感じてほしいとの思いから、MGプラザ2階を会場に開催された音楽会。出演者は「ミセス・ビートル」。ソプラノの稲田奈華子さんと古田恵美子さん、フルート奏者の前田樹里さん、ピアノ奏者の山下香織さんの4人が、この音楽会のために結成した団体です。会場に集まった80人を超える親子が見つめる中、「トルコマーチ」や「エリーゼのために」など全8曲を演奏・歌唱しました。

今後子どもたちにもわかりやすい音楽を聴いてもらうため、定期的に音楽会を開催していきたいとのことでした。



◀最後は子どもたちの声に答え、手拍子に合わせてアンコールを披露

「サバメシ」つくろうぜ!

県立三沢航空科学館実験イベント

7月30日

「サバメシ」とは「サバイバル飯」の略で、身近にある空き缶や牛乳パックでご飯を炊こうという実験。家庭での「防災」を考えるきっかけになればと科学館実験工房インストラクターが企画したものです。

身近な素材でご飯を炊くためには道具作りから。子どもたちは保護者の手を借りながら、慣れない手つきでカッターで空き缶に穴をあけてやっとの思いで「釜」を作成。大空ひろばでは、燃料となる牛乳パックの切れ端を約25分間「釜」にくべ続けました。講習を含め約1時間半の苦勞が実り、できたご飯はさぞおいしかったことでしょう。災害の怖さ、電気の便利さ、お母さんの偉大さに気付いたのではないのでしょうか。



◀火が消えたり牛乳パックがうまく「釜」に入らなかったりとまたまた四苦八苦

出来事通信

できごと
つうしん

体験して食を学ぶ

わんぱくあつまれ〜フェスタ

8月6日

このイベントは、食育教育の一環としてJA おいらせが本店を会場に毎年開催している親子体験学習です。130人を超える親子が集まり、料理体験や収穫体験などを通して普段食べているご飯や野菜について学びました。

野菜に関する基礎知識の勉強では、3択問題を前に子どもはもちろぬお母さんまで頭を抱えて大苦戦。続く料理体験では、苦手な野菜も調理次第でおいしいごはんになることを自分の手で知った子どもたち。最後は谷地頭の織笠農園でブルーベリーとじゃがいもの収穫体験をしました。このイベントを通して、親子で一緒に考え話し合いながら体験したことで、絆が深まり、たくさんの楽しい思い出

ができたことでしょう。また、「食」を今まで以上に身近に感じるようになったのではないのでしょうか。

▶たわわに実ったブルーベリーを口にしながら収穫する参加者

◀野菜を自分の手で調理しておいしいご飯を作る子どもたち



特色を生かして元気を発信

「イチ、ニのサン」元気な東北市長対談会

8月9日

「イチ、ニのサン」の掛け声に合わせ、一関市、二戸市、三沢市の3市で観光や地域おこしに取り組み『元気な東北』をアピールしていこうと、一関市で対談会が催されました。

各市長からはそれぞれの市の特色、観光名所、特産品などの説明があったほか、各市で地域おこしに取り組む人たちが自らの活動を紹介しました。三沢市から参加したのは三沢国際クラブとみさわ国際交流協会初代会長の藤嶋輝昌氏。多くのアメリカ人が居住する三沢市で、お互いの文化・食などを紹介し、多くの観光客を集めるジャパンデーとアメリカンデーの概要と始まった経緯、それに関わるボランティアの状況などについて説明しました。今後は3市の事務局で事業の具体化が図られていくとのことでした。



◀それぞれの特色を生かし、全国に発信していければと話す種市市長(中央右)

農業をまるごと体験

ファームフェスタ in 斗南

7月31日

会場となった道の駅みさわ斗南藩記念観光村では、農業体験や牛の乳搾り体験などたくさんの催しが行われ、家族連れが自然との触れ合いを楽しみました。

農業体験では大根やニンジン掘りに挑み、額に汗を浮かべ、尻餅をつき、土で汚れながら何度も何度もチャレンジ! 抜けた時には大きな歓声をあげ、収穫した野菜を持って笑顔で記念撮影をしていました。

またその後に行われた牛の乳搾り体験にも多くの親子が参加し、間近で見る牛に最初はひるんだ子どもたちも夢中になって体験していました。農業体験や乳搾り体験を通じて食の原点から楽しんだ子どもたち。ファームフェスタをまるごと味わった一日でした。



◀一生懸命野菜を引き抜こうとする子どもたちでしたが、大根には悪戦苦闘

地元だからこそ気づかない魅力

九條今日子氏を観光大使に任命

7月29日

九條今日子さんが三沢市観光大使に任命され、市長室で行われた任命式で種市市長から委嘱状と市の特産物などをPRする名刺6,000枚を受け取りました。

九條さんは三沢市出身の詩人・劇作家の寺山修司の元夫人で、現在は寺山修司記念館の名誉館長を務めながら、全国各地の関係するイベントに出演し、寺山作品の広報活動を行っています。長いも、ゴボウやゴマせんべい、黒ニンニクなどの特産品を日頃から好んで食していると話し、「地元だからこそ気づかない魅力もあるはず、三沢にはいいものがたくさんあるので、できるだけそれを広める手伝いをしたい」と力強く抱負を語りました。



◀平成26年3月末まで、三沢市の特産品のPR活動などを行います

子どもたちの笑顔を絶やさぬように

淋代保育所へ「ステラ北斗51号」贈呈

7月28日

東奥日報社と青森スバル自動車(株)から淋代保育所へ自動車「ステラ北斗51号」が贈呈されました。青森スバル自動車(株)は社会還元事業として東奥日報社に車両を提供し、県内の福祉施設等に贈呈し続けており、今回は東日本大震災によって被害を受けた淋代保育所に贈ったものです。

淋代地区コミュニティ集会所で行われた贈呈式では、東奥日報社の塩野専務取締役から淋代保育所の森谷所長に車のキーが手渡され、同保育所を運営する社会福祉法人淋代福祉会の月館理事長は「車を持つなんて夢のまた夢でした。これまでに、そして今日もたくさんの『福』をいただきました。今後も目の前の子どもたちの笑顔を絶やさぬよう、力を尽くします」と話しました。



◀園児の佐藤実南ちゃんと根城桜華ちゃんからお礼の花束が手渡されました



お知らせ

浄化槽の維持管理

浄化槽は正しく使いましょう
浄化槽の機能を維持するためには、適正な管理が必要です。浄化槽法では、

- ① 定期的な保守点検
- ② 年1回の清掃
- ③ 法定検査の受検

が義務付けられていますので、適正な維持管理をお願いします。また、浄化槽の使用開始や廃止、所有者の変更時などには届出が必要です。

▼問い合わせ
環境衛生課(内線279)

図書館からのお知らせ

秋のリサイクルブックフェア
とき 9月24日(出)・25日(回) 10時～15時

ところ 玄関前アプローチ
※9月16日～24日の間、不要になった本を募集します。詳しくはお問合せください。

▼申し込み・問い合わせ
図書館(☎53-6040)

航空科学館イベント情報
お茶会&お月見
お茶を飲みながら中秋の名月を楽しもう!浴衣大歓迎!裏千家の先生がお茶をたててくれます。

とき 9月10日(出) 受付 18時～
お茶会18時30分～
ところ 大空ひろば 他

定員 30人(先着順)
参加料 300円(お茶菓子)
▼申し込み・問い合わせ
県立三沢航空科学館
(☎50-7777)

歴史民俗資料館からのお知らせ
みんなで学ぼう三沢の歴史
展示替えをして見やすくなりました。企画展「地震海鳴りほら津浪2011」三沢の漁業を襲った東日本大震災(☎)をご覧ください。

期間 9月11日(回)～
10月30日(回)

市民無料相談

問：問合わせ 場：開催場所

●法律相談 (法テラス青森主催)	7日(水)・21日(水)
☎法テラス青森(☎050-3383-5552)	10月5日(水)
☒市民相談室 ※要電話予約・先着6名・受付条件あり	13時～16時
●法律相談 (社会福祉協議会主催)	13日(火)
☎社会福祉協議会(☎52-3270)	13時～16時
※要電話予約・先着6名	
●法律相談 (市主催)	27日(火)
☎広報広聴課(内345)	13時～16時
☒市民相談室 ※要電話予約・先着6名	
●人権・行政相談	12日(月)
☎広報広聴課(内345)	10時～15時
☒市民相談室	
●仕事の悩み相談	21日(水)
☎就職支援センター(☎27-6005)	13時～16時
※要電話予約	
●労働条件・年金相談	8日(木)
☎就職支援センター(☎27-6005)	13時～16時
※要電話予約	
●人権・困り事相談	第2・4木
☎人権・困り事相談所(☎52-7083)	9時30分～15時
☒ふれあいの館	
●教育相談	毎週月～金
☎国際交流教育センター内教育相談室(☎53-6060)	8時15分～16時
●家庭児童・婦人相談	毎週月～金
☎家庭福祉課(内381)	9時～16時
●育児・子育て支援相談	毎週月～金 8時30分～16時30分
☎三沢地域子育て支援センター	毎週土 8時30分～11時30分
(☎53-1176)	
●育児・子育て支援相談	毎週月～金
☎みさわファミリーサポートセンター(☎50-1518)	9時～16時30分
●消費者生活相談	毎週月～金
☎県消費生活センター八戸相談室(☎0178-27-3381)	9時～17時
●警察安全相談	随時
☎三沢警察署総務課(☎53-3145 内217)	電話相談可
●犯罪被害者支援相談	毎週月～金
☎青森県地方検察庁被害者ホットライン(☎017-722-1234)	9時～16時30分
●がん・緩和ケア・医療相談	毎週月～金
☎三沢市立三沢病院地域医療連携室内(☎51-1375)	9時～16時
●介護・福祉相談	毎週火
☎三沢市立三沢病院地域医療連携室内(☎51-1375)	10時～15時

固定資産税評価基準の変更

冷蔵倉庫をお持ちの方へ

平成24年度から「保管温度が10℃以下に保たれる倉庫」が家屋の評価対象になります。該当すると思われる非木造の冷蔵倉庫がありましたらご連絡をお願いします。

▼通常の倉庫に市販の冷蔵庫を置いている
▼倉庫を事務所等と併用し、冷蔵部分が面積の半分以下
▼そのほか倉庫の構造や年数によって対象外の場合があります。

▼問い合わせ
税務課資産税係(内線166)

催し

犬のしつけ教室
ワンちゃんを良い子にしよう
とき 10月1日(出)10時～12時
ところ 四日目ドッグラン

定員 10人程度(無料)
参加資格 市内在住の飼い主
申込締切 9月26日(回)
▼問い合わせ
環境衛生課(内線279)

ピアノリレーコンサート
開催と出場者募集のご案内
長年愛され甦ったピアノ「スタインウェイ」で夢と希望を一緒につなぎませんか?

三沢の昔を語る会
パネルディスカッション
とき 10月8日(出)13時～16時40分
ところ 公会堂2階第6集会室

定員 30人(先着順)
参加料 無料
申込締切 9月30日(回)
▼申し込み・問い合わせ
図書館(☎53-6040)

テーマ 「高齢化社会と生涯学習」
受講料 4000円(4回分)
申込締切 10月3日(回)
※県民カレッジ単位認定講座
▼申し込み・問い合わせ
生涯学習課(☎内線369)

日米アームレスリングフェス
出場者を募集します
とき 9月18日(回)9時～15時
ところ ミス・ビールドーム

部門 一般(男女)、小学生、一般男子団体
参加料 一般 1000円
小学生 500円
男子団体3000円
▼申し込み・問い合わせ
(☎53-3231)

市民卓球大会
参加者を募集します
とき 9月25日(回)8時30分～
ところ 総合体育館

対象 高校生以上
種目 男女シングルス
参加料 シングルス1000円
ダブルス 1500円
申込締切 9月9日(回)
申込方法 郵送申込みのみ
▼申し込み・問い合わせ
三沢市卓球協会 成田
(☎57-0109)

入場料 一般 1000円
小・中学生 500円
(毎週(出)は小・中学生無料)
▼問い合わせ 歴史民俗資料館
(☎59-3670)

上級救命講習会
いざというときのために
とき 9月25日(回) 8時30分～17時30分
ところ 消防本部2階講堂

定員 30名(先着順)
内容 8名以下の場合中止
成人および小児・乳幼児の心肺蘇生法や異物除去法、止血法、搬送法、AEDの使用法など

受講料 200円(テキスト代)
申込締切 9月18日(回)
▼申し込み・問い合わせ
消防署救急係
(☎54-4212内線218)

先人記念館記念講座
民藝(みんげい)の魅力
とき 9月18日(回) 13時30分～14時30分
ところ セミナールーム

講師 県民芸協会会長 会田秀明氏
▼問い合わせ 先人記念館
(☎59-3009)

市民ウォークの集い
小川原湖沿いを歩いてみよう
とき 9月11日(回)9時30分～
ところ 市民の森運動公園

内容
▼ゆつくりコース 約3.5km
▼急いでコース 約6km
参加料 子ども 無料
大人 500円
申込締切 9月9日(回)
※おにぎり、飲み物等は持参ください。

▼申し込み・問い合わせ
市民スポーツ課(内線372)

陽だまりサロン
本の読み聞かせ
はまなすの会の皆さんによる楽しいお話しです。

とき 9月25日(回)10時～
ところ 公会堂メインロビー

ロビーコンサート
かなりやコーラス&うたごえサークル雲雀会による「いつかどこかで聞いた歌」

とき 9月25日(回)15時～
ところ 公会堂メインロビー

▼問い合わせ 中央公民館
(☎53-8711)

市民大学 一般教養講座
講座を受講しませんか
とき 9月10日(出)14時～
ところ 公会堂3階

演題 「女性の魅力でコミュニケーションアップ」あなた今輝いていますか」

講師 セミナー青森 鎌田 昌子氏
受講料 無料
▼問い合わせ 中央公民館
(☎53-8711)

市民ウォークの集い
小川原湖沿いを歩いてみよう
とき 9月11日(回)9時30分～
ところ 市民の森運動公園

内容
▼ゆつくりコース 約3.5km
▼急いでコース 約6km
参加料 子ども 無料
大人 500円
申込締切 9月9日(回)
※おにぎり、飲み物等は持参ください。

▼申し込み・問い合わせ
市民スポーツ課(内線372)

県営校町団地
入居者を募集します
戸数 2人世帯用2DK 1戸
ところ 桜町3丁目1番21号
募集期間 9月5日(回)～16日(回)
(土日を除く)

入居予定日 11月1日(火)
入居資格
①同居者が親族であること
②住宅に困窮していること
③所得が政令で定められた金額以下であること(※)
④暴力団員でないこと
家賃 月額1万7千4百円
※所得に応じて決定します。
※入居資格を審査のうえ抽選により決定します。

▼申し込み・問い合わせ
建築住宅課(☎内線260)

募集

弘前大学公開講座
受講生を募集します
とき 10月7日、14日、21日、28日の各金曜日
18時30分～20時30分
ところ 公会堂第6・7集会室

募集

市民ウォークの集い
小川原湖沿いを歩いてみよう
とき 9月11日(回)9時30分～
ところ 市民の森運動公園

内容
▼ゆつくりコース 約3.5km
▼急いでコース 約6km
参加料 子ども 無料
大人 500円
申込締切 9月9日(回)
※おにぎり、飲み物等は持参ください。

▼申し込み・問い合わせ
市民スポーツ課(内線372)

「三沢ほっき丼」の新規参加店を募集します

皆さまご存知の「三沢ほっき丼」！
 近年ブレイクしつつある「三沢ほっき丼」！
 この「三沢ほっき丼」をもっともっと広めるために、たくさんの「三沢ほっき丼」が必要です！
 条件は三沢産のほっき貝を使って丼物にすることのみ。調理法や味付けは自由です。
 今年も12月から提供開始を予定しており、たくさんの参加店をお待ちしています。
 ※昨年度の参加店には市役所から直接連絡します。
募集締切 9月30日（金）17:00



★申し込み・問い合わせ先 観光物産課（内線523）

あおもり出会いサポートセンターがオープンしました

あおもり出会いサポートセンターは、結婚に向けた出会いの機会づくりを応援します。
出会いのサポート
 結婚に向けた出会いを希望する独身男女の会員登録（個人会員、団体会員）を受け付けます。会員には、協賛団体が行う出会いの機会となるイベント情報をメルマガで配信します。（イベント参加申し込みは各自、参加料自己負担）
セミナーの開催
 会話力の向上や婚活に向けた自分磨きのためのセミナーを県内6地区で各5回開催します。（要申し込み、参加料無料）
出会いサポーターの育成
 地域での世話役・相談役となる出会いサポーター（ボランティア）を育成し、結婚に向けて応援します。
 ★問い合わせ先 あおもり出会いサポートセンター（☎017-721-1250）

合同就職面接会

自分で動かないと何も変わらない！

日 時 9月28日（水）13:00～16:00
 （受付 12:30～15:30）
場 所 イオンモール下田 2階イオンホール
参加対象者 一般求職者（事前申込不要）
参加企業 決定次第、県地域共同就職支援センターのホームページに掲載します。

※参加者は履歴書を持参ください。
 ※参加企業の申し込みも9月21日（水）まで受け付けております。（ハローワークに求人票を提出している企業のみ）

★問い合わせ先 県地域共同就職支援センター
 三沢コーナー（☎27-6005）

新規学卒求人を受け付け申です

活力ある企業づくりはフレッシュな若い力で！

新規学卒者の募集には、早い時期での求人提出が効果的です。職業安定所に来所できない場合でも、貴社へ訪問し受付します。1人でも多くの求人をお待ちしております。
 ★問い合わせ先 ハローワーク三沢 学卒担当（☎53-4178）

障害者就職面接会

障害者の方を対象とした事業所との就職面接会

日 時 10月27日（木）13:00～15:30
と ころ 八戸プラザホテル アーバンホール
申込締切 10月7日（金）
 ★申し込み・問い合わせ先 ハローワーク三沢（☎53-4178）

警察安全相談

●9月11日は「警察相談の日」
 警察では、犯罪等による被害の未然防止、その他県民の安全と平穏にかかわる相談に応じています。本年も「警察相談の日」を中心に、警察相談の周知と利用促進に努めています。

●悩むより かけて安心 #9110
 「110」番は緊急通報用電話です。相談の場合は、警察安全相談室の専用電話（短縮ダイヤル「#9110」番）を利用してください。携帯電話、PHSからも利用できます。

警察相談窓口	県警察本部警察安全相談室	☎017-735-9110
	三沢警察署警察安全相談室	☎0176-53-3145 内線217
	配偶者からの暴力、 ストーカー相談	☎017-723-4211 内線3029
	性犯罪被害110番	☎0120-89-7834
	少年の家庭、学校、 友人問題等相談	☎0120-58-7867 ヤングテレホン
	暴力団問題の相談	☎017-723-8930

語学講座のご案内

市民の方を対象にした語学講座の第2期受講生を募集します。
 語学を学びたい方、文化を学びたい方に外国人講師がわかりやすく楽しく講義をします。初めての方も大歓迎です。



申込方法 電話または直接、国際交流教育センターへお申込みください。
 ※申し込み先につき、1人1講座まで
申込期限 9月14日（水）
 （受付時間 8:15～17:00、土日祝日を除く）

講座名・講師	開設日・時間	講師から一言	備考
英語初級講座 田中多恵子講師	毎週火曜日 18:00～20:00 計9回 9/20,27,10/4,11,18,25,11/1,8,15	バラエティに富んだ内容で易しく英語を学んでいきます。（中学校3年生程度）	資料代1,800円 定員20人
ステップ・アップ英語講座 シレッサ・ジョンソン講師	毎週火曜日 10:00～12:00 計9回 9/20,27,10/4,11,18,25,11/1,8,15	ゲームなどを交えながら楽しく英語を学び、英語での会話ができることを目指します。	資料代1,800円 定員20人

★上記講座の申し込み・問い合わせ先 三沢市国際交流協会〔国際交流教育センター内〕（☎51-1349）

講座名・講師	開設日・時間	講師から一言	備考
ハングル語講座 全昇大（ジョン・スンデ）講師	毎週火曜日 10:00～12:00 計9回 9/20,27,10/4,11,18,25,11/1,8,15	韓国の文化・料理などを紹介しながら、基本表現・読み書きの練習を行います。	資料代1,800円 定員20人
初めての中国語講座 原麗紗講師	毎週水曜日 18:00～20:00 計9回 9/28,10/5,12,19,26,11/2,9,16,30	わかりやすく楽しく中国語を学びます。授業は日本語で行われます。	資料代1,800円 定員20人
初めてのスペイン語講座 ティーナ・グエン講師	毎週木曜日 18:00～20:00 計7回 9/22,29,10/6,13,27,11/10,17	楽しくスペイン語を学びます。授業は英語で行われます。	資料代1,400円 定員20人
日本語講座 アトキンソンみゆき講師	毎週火曜日 18:00～20:00 計9回 9/20,27,10/4,11,18,25,11/1,8,15	市内在住の外国人が対象の講座です。日常基礎会話を中心に勉強します。	資料代1,800円 定員20人 外国人対象

★上記講座の申し込み・問い合わせ先 国際交流課〔国際交流教育センター内〕（代表☎51-1255）

木造住宅耐震診断の募集期間を延長します

ぜひこの機会にお住まいの安全・安心を確かめてみませんか？

対 象 昭和56年5月31日以前に建築された住宅（その他要件あり）
募集戸数 10戸（9月1日以降の受付からは先着順）
診断費用 個人負担額8,000円（1戸あたり）
 ※診断費用総額138,000円のうち残りは国・県・市が負担します。
 ※200㎡を超える住宅については対象者の負担額が増える場合があります。
申込方法 市ホームページからダウンロードまたは建築住宅課で配布する申込書に必要事項を記入のうえ、建築住宅課へお申し込みください。
申込締切 10月31日（月）



★申し込み・問い合わせ先 建築住宅課（内線265）

アイスホッケー・フィギュアスケート教室

日時 (アイスホッケー教室)
9月15日(木)、17日(土)、20日(火)、
22日(木)、24日(土)、27日(火)、29日(木)
の18:15～19:00(全7回)
(フィギュアスケート教室)

9月25日(日)	15:30～16:15
9月27日(火)	17:15～18:00
10月1日(土)	16:30～17:15
10月2日(日)	9:30～10:15
10月4日(火)	17:15～18:00
10月8日(土)	16:30～17:15
10月9日(日)	9:30～10:15

(全7回)

場所 三沢アイスアリーナ
対象者 年長から小学3年生まで
定員 各25人(先着順)
参加料 1,000円(滑走料7回分)
申込方法 保護者またはご家族の方が直接三沢アイスアリーナでお申し込みください。
申込期間 9月8日(木)～定員になり次第終了
※当日は手袋、帽子、防寒具、スケート靴をご準備ください。(貸スケート靴をご利用の方は別途300円が必要です)
★問い合わせ先 三沢アイスアリーナ(☎57-2100)

フィンボール講座

体のリハビリと心のリフレッシュに最適!
日時 10月4日、11日、18日、25日、11月1日の火曜日10:00～12:00(全5回)
場所 総合体育館体育場
対象 18歳以上
定員 20人(先着順)
受講料 1000円(使用料、保険料込)
申込締切 9月28日(水)17:00
※当日は運動しやすい服装で室内シューズ、汗拭きタオルをご準備ください。
★申し込み・問い合わせ先 総合体育館(☎53-1218)

卓球教室

日時 10月8日、15日、29日、11月5日、12日の土曜日10:00～12:00(全5回)

場所 総合体育館体育場
対象 小学生以上
定員 20人(先着順)
受講料 一般 1000円
高校生以下 500円
(使用料、保険料込)

申込締切 10月5日(水)17:00
※当日は運動しやすい服装で室内シューズ、汗拭きタオルをご準備ください。

★申し込み・問い合わせ先 総合体育館(☎53-1218)



市民ひとり芸スポーツ交流祭

日時 10月10日(月)9:00～
場所 総合体育館(セレモニー会場)
参加料 無料(材料費は自己負担)
申込方法 各施設窓口へお申し込みください。(当日可)

ミニバス・スキルチャレンジ教室	総合体育館	☎53-1218
剣道体験教室	武道館	☎57-0050
空手体験教室		
太極拳教室		
短棒術体験教室		
流水教室と水中ウォーキング体験教室	温水プール	☎59-3850
子ども流水健康教室		
カーリング初心者教室	アイスアリーナ	☎57-2100
南部さき織り	市民の森温泉浴場	☎59-2246
ひば細工		
自治振興公社杯テニス交流大会	南山テニスコート	☎51-2091
初心者テニス教室		
チャレンジ的あてゲーム		
サッカー教室	南山屋外運動場	☎51-8105

★申し込み・問い合わせ先 自治振興公社(☎51-1930)

緑化公社秋まつり

自然とふれあおう!

日時 10月10日(月・祝)11:00～13:00
場所 市民の森温泉浴場
内容 ▶竹細工教室▶バードコール作成
▶まき販売予約受付▶腐葉土無料配布
定員 各50人(先着順)

チューリップ球根無料配布

日時 10月10日(月・祝)10:00～
場所 総合体育館
配布数 200個(先着順)
★申し込み・問い合わせ先 三沢市公園緑化公社(☎51-2820)



自衛隊航空機の体験搭乗者を募集します

航空自衛隊三沢基地では、航空自衛隊ならびに三沢基地への理解を深めていただくために、基地周辺にお住まいの方を対象に、航空自衛隊機への体験搭乗者を募集します。

期日 10月23日(日) 輸送機YS-11への体験搭乗(約15分)
10月29日(土) 大型輸送ヘリCH-47への体験搭乗(約15分)

場所 航空自衛隊三沢基地
参加資格 小学生以上(18歳未満は保護者同乗)
定員 各100人(応募多数の場合は抽選)
応募方法 往復はがきに以下の必要事項を明記のうえ郵送でお申し込みください。

①希望機種②住所③登場希望者全員の氏名及びフリガナ④年齢⑤職業⑥電話番号

申込締切 9月16日(金)必着

★申し込み・問い合わせ先 第3航空団司令部監理部渉外室広報班(☎53-4121内線3313) ☎033-8604 三沢市後久保125-7



自衛官を募集します

募集種目	応募資格 (平成24年4月1日基準)		受付期間	試験期日	試験場所(予定)
看護学生	男女	高卒(見込含) 24歳未満	9月5日(月) ～ 9月30日(金)	10月22日(土)	白山台公民館 (八戸市北白山台)
防衛医科大学校学生	男女	高卒(見込含) 21歳未満		10月29日(土)・30日(日)	青森第二合同庁舎 共用会議室
防衛大学校生(一般)	男女	高卒(見込含) 21歳未満		11月5日(土)・6日(日)	江陽公民館 (八戸市江陽2丁目)

★問合せ 自衛隊青森地方協力本部 三沢募集案内所(☎53-1346)

交通安全家族クイズラリー

正しい交通ルールと運転マナーを学んで豪華賞品を!

日時 9月25日(日)8:30～13:00頃
場所 ミスビードルドーム
内容 設定したコースを道路交通法を守って運転し、簡単なクイズを楽しむ安全運転ラリー
参加資格 三沢警察署管内に居住または勤務し、乗用車を運転することができ、任意保険に加入していること(1組2人以上)

定員 100組(先着順)
参加料 1台1,500円
(2人分のお弁当付き)

申込期間 9月5日(月)～17日(土)
★申し込み・問い合わせ先 三沢地区自動車協会(☎53-2894・5163)



ソトメシキャンプDE婚活

秋の夜長、アウトドア料理を囲んで星を眺めながら語り合い、テント泊やカヌーを体験してみませんか?

日時 9月10日(土)13:00～11日(日)14:00
1泊2日
場所 根井団体活動センター「小川原湖自然楽校」
定員 未婚の男女各10人程度(先着順)
参加料 男性5,000円、女性4,000円
申込締切 9月9日(金)
★申し込み・問い合わせ先 小川原湖自然楽校(☎50-8611)

アメリカンパークカップ ジュニア3on3大会

アメリカ広場で小学生のバスケットボール大会を開催! バスケキッズたちの熱戦を間近で観戦して熱い声援を送ろう!

日時 9月11日(日)9:00～
場所 アメリカ広場
(雨天の場合は木崎野小学校体育館)
※当日は会場周辺に飲食店が設営されます。
★問い合わせ先 MGプラザオフィス(☎51-1712)

9月は発達障害福祉月間

知ってください発達障害のこと！

- 9月は発達障害福祉月間です。
 ▶発達障害は生まれながらの何らかの脳の機能不全と考えられています。
 ▶本人の性格や親の育て方によって発達障害になるわけではありません。



こんな特徴があります

自閉症・アスペルガー症候群

- ▶人と関わることが苦手▶こだわり▶活動と興味の限定▶気持ちを察することが苦手▶感じ方のアンバランス、といった特徴があります。

学習障害（LD）

勉強を怠けているわけではありません。他の人と見え方や聞こえ方が異なるため、全体的な知的能力に遅れはありませんが、聞く・話す・読む・書く・計算・推論する様々な学習、生活上の困難を抱えています。
注意欠陥多動性障害（AD/HD）
 自分をコントロールする力が弱く、それが不注意・衝動性・多動性の行動面の問題となってあらわれます。

接し方を工夫しましょう

なぜその行動が起きるのか、「行動を見て」「対応を工夫」してみましょう。
 ▶見通しを立てやすい環境づくり▶落ち着いた環境▶こだわりや興味を活かす▶ルールや指示は明確にする▶成功体験▶自信づけ等、その人の特性を理解し、適切に接することが大切です。

発達の心配があるときはどうすればいいの？

市では4カ月児から3歳児健診まで、毎月乳幼児健診を実施しています。乳幼児期は人へのコミュニケーションが芽生える時期で、健診は社会性の発達を確認する機会でもあります。
 また、個別の発達相談を無料で実施していますので、お子様の発達や対応方法でお悩みがあるときは、1人で悩まず下記の相談をご利用ください。

個別の発達相談

- ▶遊びの広場（健診事後指導教室）
 ▶心理士の個別発達相談
 ▶児童相談所巡回相談
 ▶5歳児発達相談
 ▶5歳児発達相談の事後指導（ミニミニスクール）
 ※全て会場は保健相談センター（予約制）

問い合わせ…保健相談センター ☎57-0707

9月の保健だより

＋ 休日救急診療 ＋

9月 4日	みさわクリニック	53-3739
9月 11日	得居泌尿器科医院	50-1333
9月 18日	さいとう耳鼻科咽喉科クリニック	50-1406
9月 19日	さんあい眼科クリニック	53-8721
9月 23日	まつぞのクリニック	52-5050
9月 25日	中山内科医院	52-7752
10月 2日	すずき小児科内科クリニック	52-6555
10月 9日	米田内科小児科医院	53-8233
10月 10日	柿崎外科医院	57-1151

※17時以降の夜間救急診療は当番制ではありません。

健康診査・保健相談

内容・対象	月日	時間	場所
妊婦歯科健診 *母子手帳を持参してください。	9月13日(火)	受付13:15～13:30	保健相談センター
両親学級1課(妊娠・栄養講話)	9月13日(火)	受付13:15～13:30	
両親学級2課(沐浴実習等) *母子手帳を持参してください。	9月12日(月)	受付13:15～13:30	
4カ月児健康診査 *希望の保護者は歯科健診を受けることができます。 *ブックスタート事業(絵本の読み聞かせやプレゼント)があります。	9月13日(火)	受付12:45～13:15	
6～7カ月児健康相談	9月13日(火)	受付9:30～10:00	
9～10カ月児健康相談	9月28日(水)	受付9:30～10:00	
1歳6カ月児健康診査 (平成22年1月生まれの幼児)	9月29日(木)	受付12:45～13:15	
2歳児歯科健康診査 (平成21年4月生まれの幼児)	9月28日(水)	受付12:45～13:15	
3歳児健康診査 (平成20年2月生まれの幼児)	9月14日(水)	受付12:30～13:00	
▼乳幼児健診では、母子健康手帳・パスポート等を持参してください。 1歳6カ月児・2歳児・3歳児健康診査では診査票等を忘れずに。 体調不良や感染症等の時は受診をご遠慮ください。 ▼乳児相談では、中学生の「ふれあい体験学習」が併設されますので、ご協力をお願いします。			
栄養相談	随時受付(予約制)		上十三保健所 (十和田市)
一般健康相談	毎週月・木曜日	9:00～16:00	
女性健康相談	9月20日(火)	受付10:00～10:30	
精神保健福祉相談	9月28日(水)	受付13:00～14:00	
*問合せ：上十三保健所 ☎23-4261			

献血のお知らせ

日	時	場所
9月24日(土)	10:00～11:45 13:00～16:00	ビードルプラザ (北側駐車場)
9月28日(水)	10:00～12:00 13:00～16:00	(協)三沢建設業協会

病气やケガなどで輸血を必要としている方の生命を救うため、献血のお願いをしています。 問い合わせ…保健相談センター ☎57-0707

「こころのケア相談」を実施します

市民の皆さんの心の悩みや不安、心の健康についての相談を精神保健福祉相談員がお受けします。
 ひとりで悩まずご相談ください。
対象者 乳幼児から高齢者までの本人とその家族等関係者

相談方法

電話相談 専門の相談員が電話で相談を受けます。

相談日 9月29日(木)
 10月19日(水)
 11月8日(火)
 12月15日(木)
 平成24年1月18日(水)
 2月15日(水)
 3月21日(水)

受付時間 10:00～12:00、13:00～16:00

電話番号 こころのケア相談 ☎57-0029 (専用電話)

※相談料は無料ですが、通話料がかかります。



ポリオ予防接種を忘れずに受けましょう

日時 9月6日(火)～9月9日(金)

対象者 生後3カ月～90カ月未満の方

場所 保健相談センター

※対象の方には予診票等を送付していますが、転入等で予診票が無い場合はご連絡ください。

★問い合わせ 保健相談センター ☎57-0707

40歳、50歳の方へ。がん検診は受けましたか？

平成24年3月31日までに40歳、50歳になられる方は、胃・大腸・肺がん検診を無料で受診することができます。まだ、受診していない方は、この機会にぜひ受けましょう！

★問い合わせ 保健相談センター ☎57-0707

▼詳しくは、八戸年金事務所 ☎0178-437368へ。
 ▼日本年金機構のホームページ http://www.nenkin.go.jp/ もご覧ください。

高年齢任意加入被保険者は、日本国内に住所がある60歳以上65歳未満の方が、65歳までの間に任意加入することができます。また、昭和40年4月1日以前に生まれた方については、70歳までの間に年金を受けられる加入期間を満たすまで特例的に任意加入することができます。手続きした時から加入することとなり、保険料を納めないとい資格を失います。

面接相談 本人や家族に実際に会って相談を受けます。
相談日 9月12日(月)、10月6日(木)
 11月22日(火)、12月22日(木)
 平成24年1月30日(月)、2月27日(月)
 3月28日(水)

受付時間 平日9:00～16:00

場所 保健相談センター

電話予約 1日につき先着3名まで。3日前までに予約をしてください。相談内容をお伺いします。
 ☎57-0029 (専用電話)

※相談は無料で、相談時間は1人1時間程度です。

精神保健福祉相談員とは？

地域の精神保健活動の第一線機関である保健所や保健センターで、精神障害者やその家族の相談に応じて、病状の悪化を防ぐとともに、社会復帰できるようにさまざまな援助を行なうのが精神保健福祉相談員の仕事です。

★問い合わせ 保健相談センター ☎57-0707

ワンポイント消防

老朽化した消火器にはご注意ください！

消火器の廃棄

不用になった消火器は、放射や解体といった廃棄処分を自分の手では絶対にしてはいけません。購入したお店や消火器販売店などへ速やかに廃棄処分を依頼しましょう。

消火器の維持管理

消火器は風通しのよいところに設置し、風雨にさらされる場所や湿気の多い場所は避けてください。日頃から、消火器に腐食や破損などがないか点検するように心がけましょう。



住宅用火災報知器の設置(寝室、階段等)がまだのご家庭は早急に設置しましょう。 消防本部予防課

連載 答えします！
 question and answer

Q 老齢基礎年金の受けるのに必要な加入期間を満たしていませんが、60歳を過ぎても国民年金に加入できますか？

A 60歳になれば国民年金に加入する資格を失いますが、老齢基礎年金を受けられる期間を満たしていない場合は、60歳を過ぎても国民年金に加入することができます。これを高年齢任意加入被保険者といいます。

平成 23 年度 母と子のよい歯のコンクール 高岡さん母娘が最優秀賞を受賞

幼児や保護者、地域社会の歯科保健への関心を高めるため、健康な歯を持つ母と子を表彰する「母と子のよい歯のコンクール」で高岡さん母娘（東町）が青森県の最優秀賞を受賞した。

この賞は3歳児歯科健康診査の結果で虫歯が無いだけでなく、歯並びや噛み合わせ、口腔に異常がないことや歯磨きが良好であるこ



と、さらに全身にも病気が無く発育・栄養状況が良好で健康であることなどが選定基準。また、母と子がどのように「よい歯」づくりに取り組んできたかも注目される。

最優秀賞を受賞した高岡さん母娘は受賞後も自然体で仲睦まじく、少し照れながら笑顔を見せてくれた。

子どもの頃から教えられてきたことを



高岡 真奈 ちゃん 高岡 友美 さん

子どもの健康は親の責任。我が家では歯磨きに限らず健康に関わる「生活習慣」に気を配っています。ただし特別なことをするわけではなく、早寝早起きなど子どもの頃から良いと教えられてきたことを無理のない範囲で継続しているだけです。

娘の歯磨きを始めたのは生後7カ月。小さな前歯が2本生えた頃です。周りの先輩ママのアドバイスや育児雑誌を参考にして、歯ブラシに慣れさせるために乳児用歯ブラシをおもちゃとして与えることから始めました。慣れたところで仕上げ磨きに挑戦したのですが、とても嫌がるので歯磨きを楽しめるようにいろいろ考えました。

歌を歌ったり歯磨き中にアンパンマンのキャラクターを登場させ、劇仕立てで「お口の中にバイキンマンがいるよ！歯ブラシでやっつけよう」と娘の笑顔を楽しみに工夫を凝らしました。

はじめは嫌がっていた娘も次第に仕上げ磨き（の時の劇？）が楽しみになり、成長した今では「食後の歯磨き」が習慣になっています。

これまでも歯の健康維持には予防が一番だと考え、私も主人も年1回～2回は歯科検診を受け、毎食後の歯磨きやフロス掃除を心がけてきました。今回の「母と子のよい歯コンクール」をきっかけに、これからも家族で歯の知識を深め大切な自分たちの歯を守っていききたいと思います。

広報みさわに対するご意見やご感想、取り上げて欲しい行事や話題など、皆様からの情報をお待ちしています。ご連絡は広報広聴課まで。

人口と世帯数 — 7月末現在 — ※（ ）内は前月との増減比較

■人口 42,015 人（- 153 人）・男 20,693 人（- 87 人）・女 21,322 人（- 66 人） ■世帯数 18,449 世帯（- 74）